

驚異のデュオ、出現。

ちょっと年季の入った音楽ファンなら、1970年代半ば頃にセンセーショナルな話題を呼んだ“驚異のデュオ”を覚えていらっしゃるだろう。ベルリン・フィルの首席奏者によるチェロとコントラバスのデュオのことだ。伸びやかにして表現力に富むチェロの美音。いつもはオーケストラで屋台骨を支える図体の大きいだけの存在だと(失礼)思っていたコントラバスまでもが、耳を疑う軽やかさで歌い、そして踊る。おまけに勘所にくれば2人とも、持ち前の低音域をズシリ!とばかりに鳴らしてみせる……。

しかし時代は変わったものですね。同じ形容句を抱くに足るデュオが、それもユーフォニアムとチューバというコンビで日本の地に生まれたのだから。テクニックたるや快刀乱麻(上の文章のチェロとコントラバスを、適宜2つの金管楽器に置き換えられたし)。そしてその大きなベルから放たれる、倍音をタップリと含んだサウンドがおりなす響きの充実感。デュオという言葉のイメージを越えた厚みのあるハーモニーや、深々としたカンタービレが耳を潤わす。極上のエンターテインメント性に加えて、そんな癒しの要素まで兼ね備えている点こそが、彼らの誇る世界遺産的な価値ではないだろうか？

木幡 一誠 (こはた・いっせい/音楽ライター)



©Masaaki Umeda

外圍 祥一郎 (ユーフォニアム) Shoichiro Hokazono, Euphonium

1969年鹿児島市生まれ。94年東京コンセルヴァトアール尚美ディプロマコース修了。ユーフォニアムを三浦徹、露木薫、スティーヴン・ミードの各氏に師事。

1992年第9回日本管打楽器コンクール第1位および大賞受賞、97年英国チューバ・ユーフォニアム・カンファレンスにおける「ユーフォニアム・プレイヤー・オブ・ザ・イヤー」受賞、同年9月フィリップ・ジョーンズ・ブラス・コンクール(フランス)ユーフォニアム部門優勝。

これまでにN響、東響、読響、東京佼成ウインド、大阪フィル、九響、札響、名フィル等と共演。また航空自衛隊航空中央音楽隊在籍中は数多くの公演でソリストを務める。2013年3月に航空自衛隊を退職後は、国内外でソロ公演を行う他、ザ・チューバ・バンド、ブラス・ヘキサゴン等のアンサンブルを主宰し意欲的な取り組みを行っている。2013年チューバ奏者の次田心平とデュオ・ユニット「ワーヘリ」を、15年にはパーカッション奏者の西久保友広とデュオを結成。また、「題名のない音楽会」、「ららら クラシック」等のテレビ番組やNHK-FM等にも出演している。

これまでに24枚のアルバムをリリース。最新CDは西久保友広とのデュオによる「日本のうた」。

東京音楽大学准教授、エリザベト音楽大学、洗足学園音楽大学、昭和音楽大学各客員教授および相愛大学音楽学部特別講師。ピュッフェ・クラボン・ジャパン専属講師。



次田 心平 (チューバ) Shimpei Tsugita, Tuba

1979年京都府生まれ。京都市立音楽高校を経て京都市立芸術大学を首席で卒業。同時に音楽学部賞、京都音楽協会賞を受賞。第24回管打楽器コンクール審査委員満場一致の第1位。2008年3月まで日本フィルハーモニー交響楽団に在籍。現在、読売日本交響楽団チューバ奏者。

これまでに日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団とチューバ協奏曲を共演。また、オーストリアのリンツで行われた国際チューバ・ユーフォニアム大会、ポルトガルのローブラス音楽祭“グラヴィッシモ!”、インディアナで開催された国際チューバ・ユーフォニアム協会にゲストアーティストとして招かれ出演。2015年にはセルジオ・カロリーノ氏とデュオ・コンサート・ツアーも行った。また、侍ブラス、ワーヘリ、ザ・チューバ・バンド、なになに《オーケストラ》ウインズのメンバーとしても演奏活動およびCD録音を行っている。これまでにDVD「チューバマスター」、CD「TuBest!」(レコード芸術特選盤)、「Mr.Tuba!」をリリース。

チューバを鹿島三嘉、武貞茂夫、ダニエル・ペラントウーニ、ロジャー・ボボの各氏に師事。

洗足学園音楽大学准教授、東京音楽大学非常勤講師。



松本 望 (ピアノ) Nozomi Matsumoto, Piano

北海道出身。東京藝術大学大学院修士課程作曲専攻修了。パリ国立高等音楽院ピアノ伴奏科首席卒業(審査員満場一致)。これまでに作曲を土田英介、尾高惇忠の各氏に、ピアノを三角祥子、北島公彦、浜口奈々、E.ベルシヨの各氏に、伴奏法をJ.ケルネル氏に師事。2003年東京文化会館主催合唱作品作曲コンクール最優秀賞。受賞作品をはじめ自作曲集、編曲集等の出版多数。2007年第4回リヨン国際室内楽コンクール第1位(ヴァイオリンとピアノのデュオ)。2008年度文化庁新進芸術家海外留学制度派遣研修員。2009年第55回マリア・カナルス国際音楽コンクール・ピアノトリオ部門第1位。

在学中より作曲と演奏の両分野で活動を展開し、2015年度にはNHK全国学校(合唱)音楽コンクール(Nコン)高等学校の部の課題曲作曲者として注目を集めた。現在、国立音楽大学ピアノ科、洗足学園音楽大学作曲科、各非常勤講師。

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

宗次フレンズ 会員募集

会員登録していただいたフレンズ会員様は
一般発売より先行してチケットをご購入頂けます

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

交通アクセス
地下鉄栄駅(12) 番出口より東へ徒歩4分

くらしの中にクワンク

宗次ホール

Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~18:00
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)